

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和元年7月3日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>DAISY COMICS ごちそうさま、ヴァージンチェリー</p> <p>令和元年6月30日発行</p>	<p>ストーリー的にはやさしく、絵柄に関しては卑わい感が乏しい。ただ、修整は白抜きのボカシで性器の形がわかる。性交の描写があり、指定やむなし。</p> <p>修整が白抜きで甘く、性描写もあり、指定やむなし。</p> <p>性器の修整はしっかりされているものの、性交の描写がやや多いと感じた。設定も兄弟の性交という近親相姦もので、ストーリー性に問題あり。指定やむなし。</p> <p>性交の場面が過激で扇情的。ストーリーはそれなりに存在するが、ほとんど無意味。近親相姦的で問題を感じる。指定該当</p> <p>性描写のシーンが全編大部分にあり、露骨過ぎるとまではいかないが性描写としては卑わいな感じを受ける。指定該当</p> <p>性器の修整はなされているが、形状がはっきりとわかるようなコマが少なくない。絵柄の印象は卑わい感がないが、性器描写の分量が少なくない。常に3人の性交であることを含めると成人向きと思われる。指定該当</p> <p>絵の描き方がサッパリしていて、いやらしさを感じさせない。擬音、体液も派手ではない。性器は白抜きになっているが、だんだんと形状が分かるようになってくる。陰毛もハッキリと描いている。ストーリー性があるかはよく分からず、絵も過激ではないのだが、血の繋がらないとはいえ次男を長男と三男が二人で強引に性行為にもち込むシーンなどは、やや人格否定的といえる。性器の修整と人格否定的な点から、指定やむなし。</p> <p>男性器は白抜きで消されているものの、形状がはっきりとわかる点が露骨で卑わい。擬音、体液描写が多く、挿入部分のアップなど構図の面でも露骨で卑わいな感じを与えている。一方、人格を否定する性交描写はないが、総合的に判断し、指定該当</p> <p>ひとつひとつの卑わい感は少ない。血がつながっている兄弟は直接交渉はないが、血がつながっていない兄弟は同性とはいえ近親相姦。ただそれで指定となるのかは疑問。ただ、男性器の形がわかり、性交シーンも多いため、指定やむなし。</p> <p>画力もあり、表題作は兄弟愛からの究極の恋愛漫画。家族愛と恋愛の心の動きを上手に表現している。消し方がカタチが多少わかる様でギリギリかと思ったが、全体を通して読んでみると男性器の登場回数が多過ぎる。読者が見たいだろうから、より多く見せたいとは理解できるが、ここまでくると青年レベルでは難しいかと思う。指定やむなし</p> <p>修整は白抜きで確実に加えられているが、擬音、体液描写が多い印象。異母兄弟ではあるものの近親相姦という設定であることは気にかかる。結合部等はいまいちに描かれており一定の配慮は感じられる。全体的に卑わい感は乏しく感じる。暴力や強制と感ぜられる箇所は見受けられない。保留</p> <p>性器の消し方が、わざと形状がわかるように描かれている。性交場面も露骨。また、兄弟同士という設定もいかなものか。とはいえ、描写自体は過激とも言えず、きれいに描かれており卑わい感は感じなかった。区分陳列が相応しいかもしれないが、保留</p> <p>絵が上手いとか幼いため、卑わい感は薄い。性交シーンも多くなく性描写もやわらかい。性器は白抜きで形はわかるが誇張はされていない。18歳という年齢設定が気になるが、人格否定も見受けられない。指定非該当</p> <p>全体的にストーリーは卑わい感は感じられない。全体として修整はされており、許容範囲であると考え。人格否定もされていない。指定非該当</p> <p>兄弟での性交だが、義兄弟同士なので近親相姦とも言い難い。性器の形状はもう少しボカシがあってもいいかと思うが、ハッキリとした感もあまりない。全裸同士でのシーンも目立って見受けられず、激しさもあまり感じない。絵もキレイで全体を通しての卑わい感は感じない。指定非該当</p> <p>修整は一定の配慮が見られる。明るいライトな絵柄で卑わい感はない。人格否定要素もないため許容範囲。指定非該当</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和元年7月3日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>G-Lish Comics PLAYMATE</p> <p>令和元年6月30日発行</p>	<p>性器の形状がよくわかる。性交の描写も消しが甘い。指定該当</p> <p>修整がされてないに等しく、性描写も多い。指定やむなし。</p> <p>性器の描写がリアルで形状もはっきり描かれており卑わいである。擬音、体液描写も多く舞台も教育現場である大学の場面もあり、指定やむなし。</p> <p>性器の描写が露骨。人間の好奇心や弱みにつけこんで過激化していくストーリーは不快な印象を与える。指定該当</p> <p>性器の描写が露骨である。成人向けとして販売されるべき。指定該当</p> <p>感受性の高い主人公が初対面でのセックス、器具の使用などで反応していく。人格否定や卑わい感あまり感じられないが、性器が二本の白い帯で消されているだけで、形がはっきりわかり修整が甘い。指定該当</p> <p>性器の描き方はあいまいだが、修整が線を入れてあるだけで、ほとんどされていないに等しい。結合部も同様である。暴力的・強制的と感ぜられる箇所は見受けられないものの、擬音・体液描写は多い印象。指定該当</p> <p>特に暴力的なシーンはなく、ストーリー性もあるが、性器の修整が無いに等しく、性交場面も多い。性器を強調した描き方で、卑わいに感じる。区分陳列が妥当と考える。指定該当</p> <p>全編大部分が性描写という印象も、卑わい感もない。しかし、性器の修整がほとんどなされておらず、指定やむなし。</p> <p>絵は上手でいやらしい描かれ方はしておらず、ストーリー性もあると感じる。全編性描写でもない。しかし、序盤から性器が描かれており、かつ白い帯のみの修整はほとんど修整されているとは言い難い。性器描写や性交シーンも明瞭で、器具の使用もみられる。指定やむなし。</p> <p>主人公の恋愛観や、心理描写に多くのページが割かれており、「性交シーンのみを描いた作品」という印象はない。しかし、男性器の修整が甘く、形状が露骨にわかり卑わい感を与えている。指定該当。</p> <p>出会い系からの恋愛を描いており、ストーリー的にはよくあるもの。しかし、修整の甘さが成人向けのレベルであり、ほとんどされていないに等しい。性器が強調されている部分もある。指定該当</p> <p>登場人物の恋愛を通した心の揺れ動きなどが描かれており、物語自体は指定該当というほどのものではないと感じたが、性器の修整が白線二本で消しているのみであり、睾丸にいたってはまるで修整がなされていないと見受けられる。指定やむなし。</p> <p>全体を通しての性交シーンはさほど多くはないものの、シーン毎に登場する性器の描写が、陰影、筋など、リアルに描写されていると感じる。もう少し描写を工夫すべきである。指定該当</p> <p>性交及び性器の修整は甘いと言わざるを得ないものの、絵はきれいでところどころコミカルなタッチであり、人格否定的要素もなく一貫したラブストーリーであると感じる。総合的に判断し、指定非該当</p> <p>性器の修整は甘く、道具の使用や拘束の描写もある。しかし、人格否定とまではいえないレベルであり、性交シーン自体もそこまで多くはない。許容範囲であると感じる。指定非該当</p>